

糸我小学校だより

令和3年7月19日



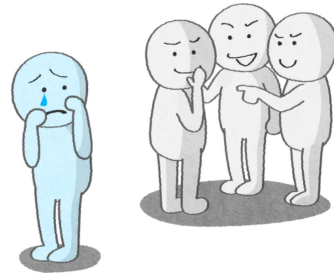
今年も、今後も、いじめの防止のために

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼします。そして、被害者、加害者だけの問題ではなく、その周りには、はやし立てたり面白がって見ていたりする観衆、見て見ぬふりをする傍観者も存在します。いじめは、すべての児童にかかわる問題であると知らせ、当事者意識をもつようにすることが大切になります。

学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、職員で研修し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。集団で生活をするなかで、人間関係による問題が発生することがあります。それをいじめの問題にならないようにするため、お互いを認め合うあたたかい人間関係を築けるように取り組んでいます。また、道徳でもいじめを取り上げた資料を使って、授業を進めています。

また、早期発見、早期対応をするため、児童いじめアンケートを実施しています。そして、いじめと考えられる事が出てきた場合は、聞き取りをし、解消するように対応しています。

今後も、「いじめはどこにでも起こる」という認識を持って、アンテナを高くして子供達を見守っていきます。ご家庭や地域でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。



令和2年7月15日『糸我小学校だより』より

自然教室に行きました(5年生)

7月5日(月)・6日(火)に自然教室を実施しました。コロナ渦のため延期に次ぐ延期の末、やっと実施できました。正に三度目の正直となりました。自然教室の場所は、由良町にある白崎青少年の家。ほぼ貸し切りに近い状態で施設を利用させていただきました。天候にも恵まれた2日間でした。



主な活動として、1日目は、フィールドサーチと野外炊さん、キャンプファイヤー、2日目は、勾玉づくりとグランドゴルフを行いました。子供たちは、全ての活動で助け合い、笑顔いっぱい元気に過ごすことができました。今回の自然教室で、子供たちの忍耐力や協力する態度がより一層身についたように感じます。また、共同生活の体験を通じ、自分の役割と責任を果すことで、集団の一員としての自覚が高まり、児童同士の人間関係も深めることができました。

給水車がやってきた(4年生)

4年生の社会科で、水道に関する学習を行っています。7月6日(火)、その学習の一環として有田市水道事務所から4名の職員の方々に来ていただいて、上水道の役割や仕組みについてお話を伺い、その後、運動場で給水車の見学と操作体験をさせていただきました。この学習を通して、水の大切さを理解し水を大切にしようとする意識が高まったのではないかと思います。



みかん摘果体験(3年生)

3年生の総合の時間の学習では、みかんについて学習しています。その学習の一環として摘果体験があります。毎年、宮本 正弘さんの畑で摘果の体験をさせていただいています。今年も7月12日(月)の1時間目から宮本さんに「1年間のみかん栽培の仕事」や「なぜ摘果が必要なのか」等、準備してくださったパネルでわかりやすく教えていただきました。その後、肥料をやったり、マルチを敷いたり、摘果したりとたくさん体験させていただきました。その中で、マルチを敷いたみかんと敷いていないみかんとを比べる実験を進めてくださっています。子供たちのみかん栽培への興味も高まり、収穫の日も楽しみです。



七夕の笹飾り(全学年)と、七夕まつり(1・2年生)

七夕と言えば笹飾り。全学年の子供たちが色とりどりの色紙で笹を飾り、一人一人の願い事を書いた短冊も飾りました。みんなの願い事が叶うと良いですね。この子供たちが飾った笹は、田んぼの学校の校長である山崎佳彦さんがとってきてくださいました。



1・2年生は合同で七夕まつりを行いました。各学年の笹飾りを体育館に持ってきて、七夕のお話を聞いたり、自分のたちの願い事を発表したりした。その後、自分たちでも思い思いに、七夕まつりのお話の本や宇宙・星に関する本などを読んで楽しいひとときを過ごしました。

プログラミング学習(5・6年生)

プログラミング学習で「自動ドア」を作りました。タッチ式の自動ドアと光反射式の自動ドアを作った比べ、それぞれの便利な点と問題点を考えました。安全な自動ドアにするためにセンサーの設置場所を考えたり、プログラミングを考えたりしたりしました。



コンピュータは人が命令を与えることによって動作します。簡単に言えば、この命令が「プログラム」であり、命令を与えることが「プログラミング」です。このプログラミングによって、コンピュータに自分が求める動作をさせることができるし、コンピュータの仕組みを知ることにもつながり、より主体的に活用することにつながります。コンピュータを理解し上手に活用していく力を身に付けることは、これからの社会を生きていく子供たちにとって、とても重要なことです。

祝 生馬 知季 選手 東京パラリンピック代表決定!

生馬知季選手、代表決定おめでとうございます。糸我出身の方が、代表入りを果たされたことを、とても誇らしく思います。生馬選手は、平成27年度に本校でお話をしてくださったこともあります。学校としても、地域の皆様とともに生馬選手を応援いたします。頑張ってください!

【競技歴など】

高校生の頃に陸上を始め、先駆者でもある松永選手のもとで急成長。2016年の日本パラ陸上男子100m200m優勝。翌2017年の世界パラ陸上の代表に選ばれ、男子100mで日本選手団唯一の決勝進出を果たす。車いすT54男子200mの日本記録を持つ。(NHKホームページより)

生活リズム

子ども達にとっての生活リズムは、朝できあがります。自分で起きることは、リズムを作ると同時に自立心も着きます。ですから、朝起きる時間を一定にし、自分で起きられるようにしましょう。目覚まし時計を使ってもよいです。朝を大切にしましょう。



生活リズムを大切にしましょう

大人も子どもも、食事・運動・睡眠が健康の三原則。しかし、24時間動き続ける現代社会は、以前に比べて子どもの睡眠習慣に影響を与えやすくなっています。特に、今年は夏休みのスタートとともに東京オリンピックが開催され、生活リズムが乱れがちに…。子どもが直接、睡眠不足を訴えない場合でも、イライラ感や衝動性、集中力のなさなど、別の形で表れることも。日々の生活習慣として、子どもの健やかな心と脳、そして体を育てるための生活リズム作りを大切にしましょう。そのために、

① 朝の光をいっぱい浴びよう

朝の光は体内時計をリセットするはたらきがあります。毎朝同じ時間にカーテンを開けて、朝の光をいっぱい浴びて気持ちよく起きられるようにしましょう。

② おいしく朝ごはんを食べよう

食事は生活リズムを整える大きな柱です。朝ごはんは血液の循環を良くし、脳や身体にエネルギーを補給してくれます。そうすることで、集中力ややる気、体力を発揮し持続させ、一日の体内時計を整えることができます。

③ 夜は決まった時間に寝よう

お風呂→着替え→はみがき→布団に入る など、寝るまでの流れを繰り返すことで「寝る時間」という意識をもてるようになります。電気を消して、暗く静かな環境にすることも大切です。